

進路通信

伊丹市立天王寺川中学校第2学年
令和2年1月21日 第7号

～前回の続き～

面接官がチェックするポイント！

面接官は、学びたいテーマが明確でしっかり目的意識を持ち、入学後に実力を発揮できる学生を入学させたいと考えています。そのため、志望する学校や分野についての理解度や、学習意欲や熱意を強くアピールすることが大切です。また、相手の話を聞き、筋道立てて自分の意見を話すコミュニケーション能力も重要なポイント。もちろん、身だしなみやマナー、言葉遣い、中学生としての教養がきちんと身についているかもチェックされます。

面接の流れと対策

控室から面接、退室まで慎重に臨もう！

面接は学校（駅）に着いた時から始まり、門を出る（駅に着く）まで続いていると言っても過言ではありません。服装やマナー、態度もチェックされるため、いつ誰に見られても大丈夫なように、礼儀正しさを忘れず慎重に臨んでください。基本のポイントを理解したら、家族や先生などに協力してもらい、面接の流れを何度も練習してみましょう。基本的なマナーが身につき、自然にこなせるようになってくると、質問にも自信を持って答えられるようになるでしょう。

○控室で待機

控室では、おしゃべりをしたりきょろきょろしたりしてはいけません。志望動機を頭の中で再確認しておくことや、身だしなみをもう一度きちんと整えることも忘れずに。

できるだけリラックスし、自分の順番まで、姿勢よく静かに待ちましょう。もし体調が悪くなったら、試験会場の担当者に申し出てください。

チェックポイント

- 控室でも面接はすでに始まっている！
- おしゃべり、きょろきょろするなどは×。
- 姿勢よく静かに待とう。

○入室・着席

面接調査票をはじめ、準備する書類は早めに作成し、内容を覚えよう

名前を呼ばれたら「はい」とはっきり返事をします。面接室のドアを3回ノックし、室内から返事があったら静かにドアを開けて入室。両手で静かにドアを閉めます。面接官の方へ向き直り、姿勢を正して「失礼します」と言ってからおじぎをします。名前や受験番号を確認されたらはっきりと答え、「おかけください」と促されてから、一礼して静かに着席します（名前などは着席してから確認される場合もあります）。

チェックポイント

- 声が上ずったり、動作を間違えたりしても慌てないで！
- あいさつしながらおじぎをするのはダメ！一つひとつの動作を丁寧に。
- 指示されてから静かに腰かけ、姿勢を正そう。